

サイボウズ「DX時代の基幹システムの現実解 ERP×ノーコードツールのアプローチ」を無料公開

「2025年の崖」問題への提案「Fit to Standard」の実践方法を解説

サイボウズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：青野 慶久、以下サイボウズ）は、企業の中核となる業務を効率的に行うための基幹システムの刷新が注目を集める中、周辺業務を柔軟に組み込むノーコードツールとの連携の考え方をまとめた「DX時代の基幹システムの現実解 ERP×ノーコードツールのアプローチ」を無料で公開しました。

本レポートはアイティメディア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大槻 利樹）により、株式会社アイ・ティ・アール（本社：東京都新宿区、代表取締役：三浦 元裕）でエンタープライズ全領域のアプリケーション構築に関わるプリンシパル・アナリストの浅利 浩一氏へのインタビューをまとめたものです。

「DX時代の基幹システムの現実解 ERP×ノーコードツールのアプローチ」は、以下のURLより、無料でダウンロードできます。

https://pg.cybozu.co.jp/kintone-erp_nocode-dl-application.html

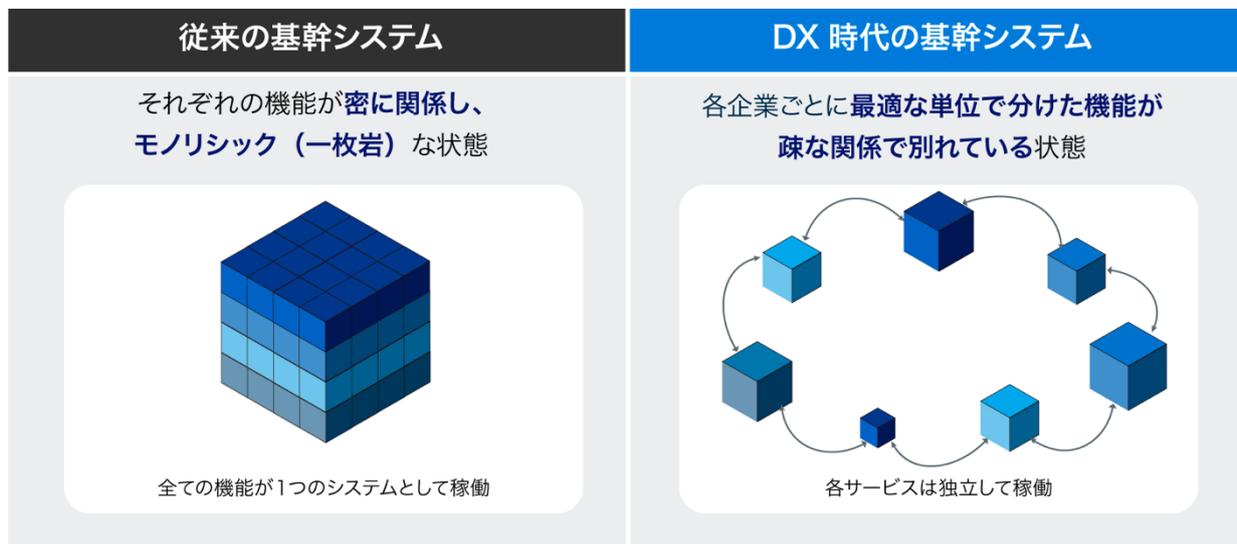
■ホワイトペーパー「DX時代の基幹システムの現実解 ERP×ノーコードツールのアプローチ」とは業種や規模を問わず、データドリブン経営への注目が高まる状況のなか、ビジネスの根幹を成す“基幹システム”の刷新に着手し、ERPパッケージ（以下ERP）を活用する企業は増加傾向にあります。経済産業省が公開している「DXレポート」では、老朽化した基幹システムがビジネス拡大における足かせとなる「2025年の崖」問題について言及しており、DXの推進（システムの刷新やIT人材の確保など）を怠れば甚大な経済損失が生じると警鐘を鳴らしています。

本レポートでは、基幹システム構築のアプローチとして注目されている「Fit to Standard」という考え方とその種類について解説し、ERP×ノーコードツールというDX時代に即した基幹システムの現実解を提言しています。

<ホワイトペーパー抜粋>

■従来型から ERP を軸とした DX 時代の基幹システムへ「Fit to Standard」でアプローチ

DX 時代の基幹システムは、市場の変化に迅速かつ柔軟に対応するべく ERP を軸に、企業ごとに最適な単位で分けた機能が疎な関係で連携する疎結合システムであることが求められています。



出典：「DX 時代の基幹システムの現実解 ERP×ノーコードツールのアプローチ」

そうした中で注目されているのが、基幹システム構築のアプローチの考え方「Fit to Standard」です。「Fit to Standard」には、ERP の機能を標準とし、業務をシステムに合わせていく「Fit to Product Standard」と、企業が定める業務の理想像を標準とし、システムを業務に合わせていく「Fit to Company Standard」の 2 種類があります。堅牢性や信頼性が必要な基幹業務はシステムの標準を利用する「Fit to Product Standard」、柔軟性や即時性が求められる自社固有業務についてはノーコードツールを利用する「Fit to Company Standard」と、適材適所に組み合わせることが「Fit to Standard」の実践につながります。

■kintone で実現する「Fit to Company Standard」

「Fit to Standard」実現に有効な ERP×ノーコードツールの組み合わせにおいて、kintone は「Fit to Company Standard」に必要な要素を備えています。基幹業務については ERP で、ERP に入力する前の未確定データの分散入力や集計、申請、ERP からのデータ参照などを kintone 上で行う、ERP×ノーコードツールの組み合わせが有効なアプローチとして挙げられます。

本ホワイトペーパーでは、より詳しい解説をしております。ここで解説する「Fit to Standard」の実践方法が、基幹システムの刷新に苦慮する企業にとって解決策の一助になることを期待しています。



■kintone とは

東証プライム上場企業の 3 社に 1 社を含む、36,000 社以上が利用しているサイボウズのノーコード・ローコードツール。IT の知識がなくても自社の業務に合わせたアプリを作成でき、日々変化する業務にあわせた改良も簡単に素早くできます。主な機能として「データベース+ワークフロー+コミュニケーション」の特性があり、顧客管理、出張申請、業務日報など幅広い用途で活用できるため、現場主導の継続的な業務改善を実現します。

製品サイト：<https://kintone.cybozu.co.jp>

報道関係者様からのお問い合わせ先

サイボウズ株式会社 広報：浦田、恵良

〒103-6027 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 27 階

TEL: 03-6757-1250 / MAIL: pr@cybozu.co.jp

※商標・著作権表示に関する注記については、こちらをご参照ください。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>